

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 149 号

落合千左衛門と伊勢屋

—天明三年青森町騒動頭取の人物像—

浪川 健治

1

〔資料紹介〕

ロシア沿海地方、一〇世紀代の

平地城・山城踏査について

小口 雅史
小嶋 芳孝

22

蝦夷刀三例 —太刀と腰刀—

関根 達人
田坂 里穂

31

〔歴史随想〕

國史研究会草創期の一人・佐藤仁先生

工藤 清泰

40

〔書評と紹介〕

小口雅史編

『古代東アジア史料論』

坂上 康俊

47

関根達人著

『石に刻まれた江戸時代 —無縁・遊女・北前船—』

福井 敏隆

49

北原かな子・浪川健治編

『近代移行期における地域形成と音楽

—創られる伝統と異文化接触—』

山田 淳平

54

浜田久美子著

『日本史を学ぶための図書館活用術

—辞典・史料・データベース—』

永田 一

61

本会機関誌『弘前大学國史研究』への投稿について
投稿規定

◎論 文 四百字詰 60枚程度を原則とする（縦書き、以下同様）

◎研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度

◎研究余録 四百字詰 10枚程度

◎史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度

◎その他（書評・研究動向・歴史随想など）四百字詰 10枚程度
◎ワープロでの執筆に際しては、一段に付き32字×23行で組んで下さい。字数は右の規定の範囲で計算して、それを超えないようにして下さい。

◎デジタルデータによる投稿も可能です（事前に編集委員会へ御相談下さい）。行数・字数は、ワープロ執筆と同様に組んで下さい。なお、プリントアウトした原稿を添付のこと。

◎横書きを希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。

◎原稿締切 一月末日と八月末日の年2回

※投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿でお願いします。また、原稿は必ず御手でコピーをとって保存して下さい下さい。投稿は本会会員に限ります。

※掲載については、原稿を受領後、編集委員会で審査し、一ヶ月以内に御通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。

※掲載分の論文等については、抜刷50部をさしあげます。

※本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の諒承を得て下さい。

◎弘前大学国史研究会第九七回例会は、令和二年三月二十二日に弘前文化センターに於いて開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、やむを得ず中止とした。しかし、報告予定者の浪川健治氏がこの報告を論文としてまとめられたので、本号に掲載をした。

◎令和二年度弘前大学国史研究会大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け中止とした。しかし、役員改選期にあたるため、十月二十二日、弘前パークホテルで役員会を開催し、会務報告、会計監査報告、会計報告、会則審議、役員改選が行われた。会則については、瀧本代表委員より、第6条と第7条の「年会費は免除する。」を「年会費及び誌代は免除する。」に改正したらどうかという提案があり、承認された。役員改選では、小口会長から任期満了による会長交代について発議があり、次期会長として瀧本壽史代表委員が推薦され、承認された。また、副会長以下の人事については瀧本新会長に一任され、小口現会長の顧問への就任が提案され承認された。新役員については、瀧本新会長から人事案として、関根達人・福井敏隆副会長、及び現在の石山晃子・大谷伸治・工藤大輔・小石川透・鶴巻秀樹・古川淳一・本田伸・三浦忠司の各委員、竹内勇造・藤田俊雄監事を留任とし、北原かな子・熊谷隆次・竹村俊哉の三名について新委員とすることが示された。代表委員については、郵便による、委員間の互選の手続きを経て、大谷伸治・本田伸両委員が選任された。今年度の総会は郵便により執り行う事とし、以上の事項について会員に総会資料を郵送し、会則に則り、総会による承認を得た。なお、事務局については大谷新

代表委員が引き受けることになり、会則第2条の事務局設置場所について、「弘前大学教育学部日本史研究室に置く」と変更することも提案され承認された。新役員等については左記の通りである。

弘前大学国史研究会役員等名簿（令和二年度～令和三年度）

- 顧問 小口雅史
- 会長 瀧本壽史
- 副会長 関根達人 福井敏隆
- 代表委員 大谷伸治 本田 伸
- 委員 石山晃子 北原かな子 工藤大輔 熊谷隆次 小石川透
竹村俊哉 鶴巻秀樹 古川淳一 三浦忠司
- 監事 竹内勇造 藤田俊雄

◎なお、小口雅史会長（当時、現顧問）は、長年の県史編さん事業への功績を評価され、令和二年十一月四日に青森県文化賞を受賞された。ここに報告をさせて頂くことにする。

（TF）

令和二年十一月十日

弘前大学 國史研究 第一四九号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学教育学部日本史研究室内

編集者 発行者 弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一―六三四番